

タウンミーティング（加茂地区） 開催報告

- 日 時 令和元年 10 月 8 日（火） 午後 1 時 30 分から
- 場 所 加茂公民館 会議室
- 参 加 者 加茂地区連合自治会長・副会長（2 名）、社会福祉協議会加茂支部長、
防犯協会加茂支部長、加茂女性部長、久保自治会長、藤之石本郷自治会代表、
千町地区自治会総代、加茂地区老人会理事、消防団加茂分団長
市長、経営戦略部長、政策企画課長、シティプロモーション推進課長、広聴係長、
危機管理課防災企画係長、市民協働推進課地域組織係長
- 傍 聴 者 0 人
- 次 第
- 1 開会
 - 2 挨拶（加茂地区連合自治会長）
 - 3 挨拶（市長）
 - 4 参加者紹介
 - 5 市の主要事業について
(1) 主要事業の説明(市長)
 - 6 地域課題「これからの地域づくりのために残したい団体」について《地域提案》
(1) 地域からの提案説明（加茂地区連合自治会長）
(2) 意見交換
 - 7 その他の提案
 - 8 まとめ・閉会
(1) まとめ（市長）
(2) 挨拶(加茂地区連合自治会長)

○会 議 録

1 挨拶

【連合自治会長】

市長には、加茂地区住民が山間部でも安心して生活できるように、市政全般にわたりご配慮いただきお礼申し上げます。

タウンミーティングは、西条市連合自治会と市が主催者となって加茂地区連合自治会が主導で開催することになった。お忙しい中、市長に加茂へ来ていただき西条市の現状や今後の市政方針を説明していただく。

加茂地区が抱えている課題は、過疎と高齢化の中で、住民の生活を手助けするために活動をしている団体の役員をする住民が少なくなり、団体を維持することが困難になりつつあること。

今後、この問題をどのようにしたらよいか市長を交えて話し合いをしていただきたく思う。よろしく願います。

【市長】

皆様こんにちは。本日は何かとご多忙でお疲れの中、皆様にお集まりいただき感謝申し上げます。

タウンミーティングは、地域のステークホルダーの皆様に集まっていただき、これからの地域づくり、地域が抱える課題をどう解決していくかを話し合う形で進めている。陳情、要望といった形もあるが、今日のテーマは大きな問題である、地域をどういう風に守っていくかについて忌憚のない意見をいただきたい。予算が必要なものがあれば来年度予算に反映していきたいと思っており、そういったところから皆様の意見をいただきたい。

そうは言いながらも、西条市は財政的に非常に厳しくなっている。今日までは「あれもこれも」と皆様の要望を聞くことができたが、これからは「あれかこれか」という時代になっており、優先順位を決めながら施策をやっていくことになる。この部分は、なかなか市民の皆様には受け入れられないという意見もあるとは思いますが、住み続けたいと思ってもらえるような西条市づくりをしていきたい。

今日は、限られた時間ではあるがよろしく願います。これで終わりではなく、今日をきっかけにこれから皆様の声を色々な形で聞いていきたい。

2 市の主要事業について

(1) 主要事業の説明

【市長】(参照別紙資料 (1))

3 地域課題「これからの地域づくりのために残したい団体」について

(1) 地域からの提案説明

【連合自治会長】(参照別紙資料 (2))

(2) 意見交換

【市長】

皆様に行政が甘えて、その上に成り立っていることがよくよくわかる。消防団を存続させるのも大変であるが、消防団は下流から応援をとという形になってくる。各団体については枠の中にはめられない。これ以上、人生の先輩に「頼むけんやってくれ。」とは言えない。しかし、会長のおっしゃるとおり、何かしら連絡ができる体制など工夫がいる。

各団体の会にも、世話役なので出てくれるかもしれないが大勢を集めることは難しい。今日、結論はなかなか出ないと思うが、どうするかを話し合わなければならない。存続させる4団体(連合自治会、民生児童委員、消防団、社会福祉協議会)については、皆様の考えということでよい。

【参加者】

皆で協議した結果である。

【市長】

この4つの団体をどうしていくか。皆様に甘えられる部分はどこで、行政がサポートしなければならない部分はどこかという話になるが。

【参加者】

加茂地区は範囲が広い。

【市長】

それも考えつつ、ではどうするかという話。小さい範囲の連絡網や連携でやり過ごすしか方法はないのか。

【地域組織係長】

これからの加茂地区の地域づくり。これからも安心安全で住みやすい加茂にするために、地域も負担を減らすのが大事である。それが今回のテーマの地域づくりの一つの目的になるのではないか。今までは、役の成り手を探すというので、役を任される方もしんどいし、お願いする方はもっとしんどいと思う。少し発想を変えて、役のなり手を探すのではなく、役の数や会議の回数を減らすといった視点が必要になってくる。

これからの地域づくりに必要な団体は何か。団体とは、何か活動をする組織や仕組みだと思うので、少し視点を変えて加茂地区に本当に必要な活動は何なのか。その上で、どのような団体を残すか、どういう仕組みで運営していけば良いか皆様に話したい。

地域の皆様に話し合った意見ということで、これらを残す意味は、民生児童委員は、一人暮らし高齢者の方を見守っていく。消防団はもちろん大事なもので、連合自治会は、地域の代表として行政へ要望するという意味が必要。社会福祉協議会は、福祉の課題解決のところで大事だと思う。今、実際にやっている活動の中で残していきたいもの、これからも守っていきたいものはどんなものか。

【参加者】

団体は活動をする目的のために作っていると言ったが、団体はあっても結果が見えない場合は地域の特異性から見てそれはやらないでいいのではないのか。

【地域組織係長】

あれもこれもはできないので、それも一つの考え方。

【参加者】

今日の参加者は10人くらいいるが、10年くらいするとこの世にいるかもわからない。市長が言うように空き家に年に1人でも増えるような形の政策があると、衰退の一途をたどっていると

ころに少しはブレーキがかかるのではないか。お金はないけど加茂地区にあった取り組みをして人が増えていくと嬉しい。

加茂地区は、平たんな場所もなく、急斜面で難しいところだが、千町鉱山や、新居鉱山が経済の地盤づくりや人口増加に寄与した。その後、住友鉱山になり、林業が盛んになり地域が潤って何とかなっていた。しかし現状を見ていると、とてもじゃないが、そういった取り組みは難しい。環境整備がされ、年金だけで生活できるような人でも増えれば結構だが、そういった方が入ることも難しいと思う。

空き家になれば雨漏りなどで腐ってしまい維持が難しい。また、周辺に雑草が生えて家が埋まってしまうている。

市長も言ったように、加茂に合った取組みを行い、年に1人でも来てもらうようになると良い。

【市長】

人を増やすのは精一杯やっていく。田滝のように外から来た人に対して優しく包み受け入れる地域もあるが、加茂はどうか。

【参加者】

案外嫌う。

【市長】

何とか空き家をうまく使って子どもたちの数を残していこうという地域もある。一方、様子見の地域もある。加茂で農業をしたい、千町の棚田で生活をしたいという人はいると思う。市は移住希望者に紹介をすることができるが、加茂地区の皆様が受け入れてくれるかどうか。受け入れるということであれば、加茂地区にも誘導していく。空き家も住めるという家であれば、空き家バンクに登録してもらいたい。受け入れてもらう側も思い切って飛び込んでくるので、そういう文化を育めるかどうか。丹原では家の程度は悪くても来てくれている。その代わり畑を貸したりもしている。加茂はどうか。

【参加者】

そうになったら加茂も受け入れると思う。加茂にも今、来てくれている人がいる。

【参加者】

来ているがほとんど住んでいない。この前も祭りの晩はいたが、翌日はいなかった。

【参加者】

どんなことをしているか聞いたことはない。あまり住んで何かをしているわけではない。1日くらい、家の後ろの畑で大根を植えていたのを見たが、普段はあまり見かけない。

【市長】

移住は生活していかないといけない。今来ている学生とは少し違うと思う。

【参加者】

愛大の学生で千町の棚田を調査しに来ている。永住してくれたらよいが、11月で帰る。

【市長】

加茂に受け入れる文化があれば、希望する人に紹介していく。

【参加者】

移住者が地域に溶け込んでくれたらよいが、自分だけのことをする人であれば、地域がばらばらになってしまう。理解のある人が来れば、皆喜んでくれると思う。

まちに出ていたが今年戻ってきた人がいた。その人の場合は加茂が地元だったから理解があった。

バスの件だが、昨日、買い物に行くため車でバス停の前を通ると待っている人が1人いた。次のバスまで1時間あったので車に乗せた。その方は、登山者で定期バスを見つけて移動していると言っていた。話を聞いて、石鎚の山を時間内に登るのは大変だと思った。人が乗らないのにバスに来てくれというのは無理な話だが、利用している登山者もいる。

【市長】

バスをいの町まで入れたかったのですが、いの町と連携をしているが、採算があわないようだ。それなら、バスに代わるデマンドタクシー等を作りたいと思っている。今は、車を運転できるので良いが、10年くらい経つと運転が心配になってくる。デマンドを入れた時に皆で育ててくれるかという話をしなければならない。自分の車で行きたいとは思いますが、皆様が使ってくれないのでは意味がない。デマンドが足になり、千町の上まで行き、病院や買い物などに行って帰ってくるよ

うなものとして皆様に使うようにしていただきたい。地域の皆様に話し合っ、協力をするような機運にならないと一回入れて使わなかったら、もう入らなくなってくる。

【参加者】

1 か月に 1 日ミニデイがあり、その時に仲間内で、バスに来て欲しいというだけではいけない、デマンドが来てくれるのは、ボランティアではなくお金もかかっている、皆が協力して何とかしないと、といった話をした。

【市長】

買い物ではローソンの移動販売車ができた。これも慈善事業ではないのでこの地域の皆様に利用すると言うことであれば来てくれる。現に橘地区ではやっている。

これは、交通の方も同じである。病院や買い物にも、できたら一緒に乗って行って欲しい。

【参加者】

今はバス停まで 30～40 分かけて行かないといけないが、デマンドはほとんど家の前まで来てくれる。

【参加者】

デマンドタクシーについては、来てくれるのだから皆が何とかして守らないといけないので、集落こぞって利用して欲しい。1 台に 5 人くらいで利用してもらうように、それを各地域で協力して利用してもらうようにしなければならない。今は車を持っている人がバスを待っている人を乗せている。バス停で待っているのにわざわざ車で乗せていっている。それではバスが使われなくなる。いきいきバス制度で市が 3 分の 2 も出してくれているのだから。

【市長】

公民館に来るのでさえ足がないといった問題がある。若手が好意で乗せてくれていると思うが、もし事故が起こった時に、その人に責任を負わせる話になる。代わりの方法を考えていかないといけない。

【参加者】

館長さんや主事さんが、一生懸命運んでくれているところがあるらしい。

【市長】

善意でやっているのに、それがあだになるのでそこは業者を使う方がよいと思う。代わりの方法を考えよう。

【地域組織係長】

移動手段の確保にも対応していかななくてはならない。

各種団体の数が多いので今の加茂地区にふさわしい組織の在り方はどんなものか。

【参加者】

ほとんどの団体が、市民大会みたいなのをやるが、参加者の割り当てが加茂地区にもあり、人集めをする団体みたいになっている。何のための団体かよく考えなければならない。

【参加者】

もう待てない。年を取ってしまっている。年を取ってしまったらどうにもならない。一人でも増えていけばいいが。加茂の上に別荘がいくつかあり、日中は上がってきているが地元との接触がない。千町に野菜を作りに来ている人もいるが、作って帰るだけなので、加茂は一つも潤わない。加茂にも何か利点があればいいが。

【市長】

人集めだけの会ではないが、加茂の皆様にとっては負担になっているのだと思う。ただ、連合自治会に代わる何か連絡体制がとれるとか、消防団とは少し話をさせてもらわなければならない。

【参加者】

加茂小学校が廃校になった 20 年前は 300 人くらいいたが、今は人口が 120 人くらい。

大保木、別子山村、加茂の 3 つを比べてみると、大保木は石鎚山、ふれあいの里があり、これを核に持っている。別子山村はゆらぎの森や、また新たな施設も作るらしい。行政の手厚い補助があり、行政に関わっている住民が多い。加茂地区を見ると加茂川くらいで観光資源がない。

昔、前々市長に話をしたが、行政は市民の皆さんがやりたいと言ってきたら、検討し、助成をするが、行政から声掛けはしないというスタンスだった。それは、前市長のときも同様であった。しかし、加茂にはやりたいという元気のある人がいなくなった。このまま山に人がいなくなるよ

うにしていのか。ただ別荘を持っている人、野菜を作りに来ているだけの人、それで、いつの間にかゴミ捨て場になり、西条のうちぬきの水も枯れてしまいかもしれない。そういった状況を避けるためにも120人になったところにもテコ入れして維持して欲しい。

前々市長の時に、棚田を使って農業移住者を増やす何かを考えてらどうかと言ったが、それは地域の人が考えることと言われた。

今の市長は、そういったこともやってみようと言ったと思うが、行政の力を以って人を増やすという時期に来ていると思う。

【市長】

今は高齢化、固定化が多く地域で問題になっている。その問題を老若男女問わず地域の皆で考えていこうと地域づくりをしている。行政からの押し付けでやると失敗が多いということで、橘では地域の皆で話し合いをしている。しかし、加茂地区で同じ力を注げと言われてもしんどいと思う。棚田は、色々な方が来てくれて一つの魅力だと思っているが、棚田を維持していくために市と地域の皆様が一緒にアイデアを出していけば、人を寄せることはできると思う。その次の住むということになるかは分からない。

【参加者】

千町の石積みの棚田はめったにない。全国の棚田を見たが、土を入れて作っている棚田ばかりだった。

【参加者】

30年遅い。20年前に言ったがその時、10年前だったらまだやる人がいたと言われた。

【市長】

住むところまでこぎつけられるかと言われれば自信はないが、人を集める術はある。

大保木も「限界からの挑戦」をキャッチフレーズに皆で挑戦している。確かにふれあいの里はあるが、若い人も移住している。小さな子どもちよろちよろしている。イベントをして賑わいの創出になっている。加茂では棚田を使って何かできないか考えることはできる。しかし、地域づくりは大きな課題である。

【参加者】

120人の地域が4つに分かれているのもどうなのか。消防だけでも25人いる。以前加茂に住んでいたという人がほとんどである。次の人を探そうと、そういった人たちの子どもに声をかけたが全然受けてくれない。加茂に住んでいれば、やってくれるかもしれないが。

【参加者】

河々平に家は8軒しかないが11月3日のお祭りには、80人くらい出身者が来てくれる。しかし、出身者の次の代の人はいない。

運動会も出身者は来る。加茂出身の親がいる間は来る。今は、200人余りの人が来てくれているので何とか自力でやっている。しかし、そういった人も70歳がきている。

【参加者】

今回も来た人の昼ご飯がないといけないので、婦人部がうどんをやってくれた。

【参加者】

加茂女性部長は今年が初めてで、先輩方はうどんを止めると言っていたが、それでも決心してやってくれた。

【参加者】

運動会しても作る人もお年寄りばかりで負担になるだけ。だいたい前から、止めた方がいいのではと言っている。

【参加者】

加茂で唯一の何百人の人がきてくれているものだからとも思う。

【参加者】

来てくれているといっても、無理に来させているようなものではないか。

【参加者】

だんだんと人が来なくなっており、一人一人と減ってきている。

【市長】

大保木の話をして申し訳ないが、企業の方が手伝ってすごい賑わいの運動会になっている。

【参加者】

地元の人は、運動会をしているらしいが行っていないと言っていた。よその人しか来ていない。

【参加者】

千町もそんな感じだった。地元の人間は半分もいないのに、なぜ世話をしないといけないのか。

【参加者】

要するに、ここに住んでくれる人が来てくれるのは良いが、イベント時に来てくれるだけで、あとは何も振り向いてくれない。それでは、自治会の繁栄にはならない。イベントも必要だが、もう少し他の面を改良したらいいのではないか。現在活躍されている人も高齢だが、地域が衰退せずに済むか。

【市長】

30年前に手を付けていれば変わっていたかも知れないが、そのまま流れていったのが今の形。

【参加者】

今、加茂に住んでいる人は動けないから加茂にいる。健全な人は困っていないから加茂にいる。人も減っていて、役をし続けなければならない。

地域のことなので困っていることを話し合ったらいい。困っていることがないのであればそれでいい。困っていることがあるならば、そういう問題を取り上げたらいい。役も団体も組織もこんなにあっても人が足りないから活動できない、成果が上がらない。

住みやすい世の中にしていくのが地域づくりだと思う。運動会などに人は来てくれるがその時だけなので地域づくりではない。人が来てくれたというだけの話。ここに成果は現れていない。成果がなかったら地域がどれだけしても貧乏するだけ。

【市長】

人を集めるために団体があるというのは、しんどい。連絡体制は小さなコミュニティとして残さないといけない。皆が加茂を分かっているというのは加茂の良さ。この良さを残していきたい。役につけと言われなくなるとなるとかできないか。

【参加者】

色々な団体があるが連合自治会を核にしてその下で部会として活動したら良いのではないか。

【参加者】

12 団体中 4 団体を残すということで決めるのなら早く決めよう。いらないと思った団体は、除籍すれば市の負担も減ってくる。いらない団体があるということは負担がかかっていると思う。

【参加者】

各団体にある程度の補助金はきいている。

【参加者】

その補助金もいらなくなるので、市の負担も減る。負担が減った分を別のことに使うこともできる。もう決めたらいいのでは。

【市長】

本当になくしてもいいか確認しなくてはならない。

【参加者】

それを早く決めよう。

【参加者】

ぱっと決めるのはよくない。ぱっと決めてしまえば、例えば公民館長は何をしているかという話になる。館長は、公民館の行事や各団体の活動を一緒に手伝ってくれる。

【参加者】

置きたい団体を早く決めて、いらないやつを無くしていけばよい。公民館も市の方の仕事で来て加茂のお守りしてくれているのだから。何かあってもすぐに公民館に連絡がとれる。

【参加者】

人が多いと組織がなければ徹底できないが、人が少なくなってきたらみんなが手の届く範囲にいるので組織はいらなくなってくると思う。

【市長】

4 つを残すということは、皆様協議の上で決めたということだが、他の悪影響がないか精査させてほしい。その上で、皆様のところに頭を下げる場合もあるかもしれないし、これで行くという形になるかもしれない。ただ、加茂の良さは、顔を分かり合っているということなので、組織が無くなった時に、それがなくなることが無いように、顔が見える加茂ということにしたい。

【参加者】

無くしてしまったらどうなるのか。加茂だけ放っておかれて島流しみたいになるのか。

【市長】

そんなことはしない。組織を無くすとどうなるのか研究してみる。

【参加者】

平成 16 年の台風の時かその前の水害の時、加茂の大災害の復旧にものすごくお金がかかるというので、買収して皆を出したら良いという人がいたらしいがそれでいいのか。

【市長】

山を大切にしなければ、海や他もダメになる。

【参加者】

そのうち、ゴミ捨て場になってしまう。

【参加者】

名水西条の水源なので大切にしてほしい。

【参加者】

恰好のゴミ捨て場にしたらいいような谷間がたくさんある。

【参加者】

今は人がいるので人目があるが、それが無くなれば捨てられる。

【市長】

加茂独自の何かを作らなければならない。他の自治会と同じフレームにいれるようなことはしない。

公民館は心の拠り所にしたいと思う。館長には負担を強いるが皆が利用してもらえるようにしたい。

【参加者】

公民館長も地元の人から選出したかったが、役を減らさないといけない、市が選んでくれるのだから市の職員が館長になってくれたら良いということでお願いした。

【市長】

公民館長も市の職員にやって欲しい。今までは退職した職員がなっていたが、定年が伸びて自分の時間が大切だからと断りだしたら、成り手がいない。

【参加者】

案外、公民館長になるのはいやがられる。

【地域組織係長】

今日は役の問題から派生して移動手段の問題や移住対策など色々な話が出たが、これからの地域づくりに必要なのは話し合いになる。加茂地区では、役や会議の数について、現状が地域の実情に合っていないことから、地域の負担軽減のために役や団体を見直し、本当に必要なものは何なのか、行政との関りも含めて話し合いが必要になる。また、地域で残していきたい、守っていききたいもの。地域で素晴らしいものもあると思うので、それらをどう活用していくか。今やっている運動会などの行事はそもそも何のためにやっているのかというところを考えていく必要がある。

今回は市長を交えて意見交換を 1 時間くらいしたが、今日の話をもう少し煮詰めて館長や市職員も参加させていただき、加茂にとってどのような形が一番理想的な組織なのかを一度機会をいただき話に來たい。西条初の新たな組織の形を作っていくのを一緒にやって行けたらと思う。よろしく願う。

【参加者】

一緒に考えてもらおう。

【市長】

出身者など外からの意見も集めて。

4 その他（地区における課題及び要望に対する回答）

【シティプロモーション推進課長】（参照別紙資料（3））

【参加者】

側溝が、16 年の台風の時に中まで詰まっている。蓋を開けて中の土砂を除けないと排水対策は

できない。

5 まとめ・閉会

【市長】

お付き合いをいただき誠に感謝申し上げます。今日お集りの皆様を始め、多くの皆様に負担を強いながら今の運営になっていることがわかった。役所の中でいけないと思うのは、行政からの指導があり紋切型で皆同じようにやってくれという形を強いるが、地域の事情によって変えていかなければならない時代に来た。20年、30年という話があったが、放っておいたら衰退していくだけなので、ここで少しエネルギーを出してもらい、皆様をお願いするのは心苦しいが、地域のことをわかっている皆様と一緒にこのタイミングで何か形を作りたい。中学校2年生の時に加茂のキャンプに来さしてもらった。島育ちなので、大保木もそうだが加茂も、島と山は同じ香りがする。地域を守っている皆様に甘えるだけでなく、汗をかいてより良い加茂にできるように遅ればせながらではあるが、一緒にチャレンジしていきたい。これからもよろしくお願いします。

【連合自治会長】

今日はお忙しい中、市長や市役所幹部の方にご出席いただき、加茂地区の課題について話し合うことができた。今日は、皆様に各種団体の整理など忌憚のない意見をいただいた。市民協働推進課の係長も来ていただいているので、また相談しながら詳しい案を提示していきたい。案ができれば再度お集まりいただけたらと思う。

今日は、皆様お忙しい中、感謝申し上げます。

(閉会)

<タウンミーティングの様子>

